

### 第37回東京国際映画祭

東京国際映画祭 TOKYO INTERNATIONAL FILM FESTIVAL 2024

会 期：2024年10月28日（月）～11月6日（水）  
会 場：日比谷・有楽町・丸の内・銀座地区  
主 催：（公財）ユニジャパン  
共 催：経済産業省／国際交流基金（アジア文化交流強化事業）／  
東京都（コンペティション部門、ユース部門）  
後 援：総務省／外務省／観光庁／千代田区／中央区／（独）日本貿易振興機構／  
国立映画アーカイブ／（一社）日本経済団体連合会／東京商工会議所／  
（一社）日本映画製作者連盟／（一社）映画産業団体連合会／  
（一社）外国映画輸入配給協会／  
モーション・ピクチャー・アソシエーション（MPA）／  
全国興行生活衛生同業組合連合会／東京都興行生活衛生同業組合／  
（特非）映像産業振興機構／（一社）日本映像ソフト協会／  
（公財）角川文化振興財団／（一財）デジタルコンテンツ協会／  
（一社）デジタルメディア協会  
助 成：文化庁文化芸術振興費補助金（映画祭支援事業）  
対 象：一般  
公式サイト URL：tiff-jp.net

総来場者数（参加数）：2,607,092人（オンライン参加も含む）  
出展参加国と地域数：110の国と地域

#### ■開催内容

日本で唯一の国際映画製作者連盟公認の国際映画祭として、才能溢れる新人監督から熟練の監督までを対象に、世界中から厳選されたハイクオリティなプレミア作品を集結させて、メインとなる長編コンペティション部門など様々な部門で国内外に発信。映画上映以外に学生、プロフェッショナル、ビジネス来場者を対象とした貴重なセミナー、シンポジウムやワークショップなども開催し、フォーラムやマーケットとの連動を意識した参加交流型フェスティバルとして人と映画、ビジネスのリンケージを実現している。

#### ■2024年度の新規取り組みとその成果・特色など

「世界との交流（国際交流）」「未来の人材育成」「女性への視座」を三本柱として取り組んだ。

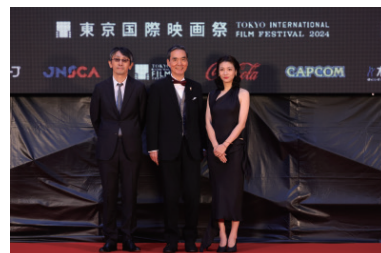
「世界との交流」では世界の映画人との対談の「交流ラウンジ」等のイベントで世界各国から監督、俳優、プロデューサー、映画祭プログラマーや映画を学ぶ学生など多種多様なゲストを招へいし、交流を図った。

「未来の人材育成」では：中学生向けの映画制作ワークショップ「TIFFティーンズ映画教室」や世界の映画教育に携わる方々を招いたシンポジウムを開催、黒沢清監督によるアジアの学生向けのマスタークラス、エシカル・フィルム賞の審査委員への学生応援団の起用など様々な形で人材育成を展開した。第34回東京国際映画祭Amazon Prime Video テイクワン賞受賞者、金允洙（キム・ユンス）監督の長編デビュー作『あるいは、ユートピア』は今年の東京国際映画祭に凱旋上映も果たした。

「女性への視座」では東京都との連携で「ウィメンズ・エンパワーメント部門」という新部門を設立し、新しい女性のシニア・プログラマーも誕生させた。現在活躍している女性監督たちがこれまでとこれからを語り合うシンポジウム「ウィメンズ・エンパワーメントシンポジウム 女性監督は歩き続ける」も開催し、好評を博した。

#### ■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数や成果

住友商事の協力で「エシカル・フィルム賞」を実施。齊藤工さんを審査委員長にむかえ、現役大学生によるPRチームである学生応援団からの学生の審査委員3名とエシカル・フィルム賞の受賞作を審査し、『ダホメ』に授賞を決定した。その審査過程も公式サイトで公表するなど、エシカルな取り組みをした。



© 2024 TIFF



© 2024 TIFF



© 2024 TIFF



© 2024 TIFF



© 2024 TIFF



© 2024 TIFF